

来年私たちは創立 20 周年を迎えます。20 周年を前に今一度ロータリーの本質を考えましょう！活動の一つひとつに真剣に向き合い、他人任せにせず自分

のできることを率先して遂行する姿勢があれば 20 周年を気持ちよく迎えらるるに相違ありません。楽しみながら努力です！

真田三代豆知識

海野氏から受け継いだ六文銭

西澤文登

来年から NHK の大河ドラマで「真田丸」が放映されます。長年にわたっての上田あげでの運動が功を奏したものです。経済効果はかなりのものが見込まれます。全国から観光客が押し寄せてきます。真田氏のお膝元上田に住まいする私達も何らかの形で観光客の皆さんに接することが予想されます。そんな時真田氏の知識が必要となることもあるでしょう。折に触れ「真田三代豆知識」を会報に掲載しようと思います。ご存知のことも多いかと思いますが、話題を広げる一助にしてください。

真田氏の旗印、家紋といえば六文銭です。私達のクラブ名にも使わせてもらっています。真田氏は六文銭のほかにも雁金（結び雁金）、洲浜、割洲浜も家紋として使いましたが、六文銭は真田の代名詞といってもよいくらい有名です。

真田氏が真田地域の一土豪だった中世の頃、現在の東御市本海野に海野氏という大勢力がいました。本海野一帯のみならず現上田市中心部、峠を越えて群馬県の吾妻にまでその勢力は及んでいました。その有力豪族海野氏と真田氏はいつしか親戚関係になります。海野氏の紋どころが六文銭であり洲浜でした。（海野宿のはずれにある白鳥神社の紋は洲浜です）真田氏は六文銭などの紋を海野氏から受け継いだのです。

吾妻地方にも六文銭を家紋にしているお宅が何軒もあるということです。嬬恋村の熊川村長さんのお宅も六文銭を家紋にしているとうかがいました。真田氏は 1540 年代半ばに武田信玄の家臣となり、主に吾妻地方の侵攻に信濃先方衆としてあたりますが、六文銭の旗印はおおいに役立ったものと思われる。

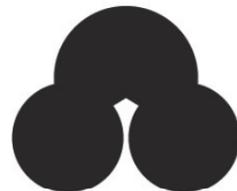
真田家の家紋



六文銭（六連銭）



結び雁金



洲浜



割洲浜



国際ロータリー第2600地区 上田六文銭ロータリークラブ Rokumonsen Rotary Club



2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R “ラビ” ラビンドラン 第2600地区ガバナー 望月 宗敬

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1 上田東急REIホテル3F TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/

《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル2F 《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 横沢 正 ●会報委員長 松澤 一志 ●副委員長 中澤 信敏 ●委員 柄澤 堯/鹿志村 恭彦

例会日誌

司会 横沢 正君
開会点鐘 西澤 文登君
委員会報告 R 財団委員長 水野泰雄君
昨年度寄付目標 150%達成の御礼
広報情報委員長 宮原宏一君
「ロータリーの友」紹介
プログラム 会長就任のあいさつ

- 3.中川直前ガバナー事務所より
・ロータリー財団寄付明細
・14-15 年度ガバナー事務所閉鎖のお知らせ
4.第 2530 地区 野崎直前ガバナーより
・「福島にこらんしょ」事業終了のお知らせ
5.ボーイスカウト日本連盟より
・『スカウティング』7月号
…友愛の広場

幹事報告

横沢 正君

- 1.R I より
・ the rotarian 7月号
・ 財団室ニュース 7月号
・ ロータリークラブの手引き
・ 会員増強ウェビナーのご案内
・ 「ロータリーの友」電子版のご案内
2.望月ガバナー事務所より
・ 月信 7月号
・ 地区大会のご案内
10/17(土)松本東急 REI ホテル
10/18(日)まつもと市民芸術館
・ 「ダメ。ゼッタイ」普及運動資材
・ 第 13 回日韓親善会議開催のご案内
・ 米山奨学生世話クラブ補助金についてのご案内

恵送

- 1.上田丸子 RC・上田東 RC・上田西 RC より 会報…友愛の広場
全会員配布物
1.ロータリーの友 2015 年 7 月号
2.当クラブより 会報第 852 号
3.月信 2015 年 7 月号
その他
1.今年度会費・・・口座引落としは 7 月 10 日です。振込みの方はなるべく今月中にお願いします。
2.例会欠席連絡は今後、例会前日昼 12 時までとさせていただきます。早めのご連絡をお願いします。
3.次週 7 月 14 日は理事会です。またガバナー補佐と 5 クラブ計 13 名の方が表敬訪問にお見えになります

出席・ニコニコBOX報告

小嶋 修一君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	24	3	-	87.50%
前々回	26	6	3	88.46%

西澤文登君  
一年間会長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

横沢 正君  
幹事をやらせていただきます。よろしくお願ひします。

水野泰雄君  
西澤丸の船出おめでとうございます!!

杉山 裕君  
今年度もよろしくお願ひします。

中澤信敏君  
新年度役員の皆様お疲れ様です。一年間よろしくお願ひします。

山崎博太君  
新年度のスタートを祝い、クラブの発展を祈念いたします。

肥田野秀知君	笠原 一洋君
鹿志村恭彦君	小嶋 修一君
松澤 一志君	西澤 尚夫君
生川 秀樹君	斉藤恵理子君
田中 栄一君	山田 豊君
中沢利樹男君	山崎 芳雄君
宮原 宏一君	



■宮澤広一君 [上段右端]  
台湾からメイク報告がありました!!

会長挨拶

「会長就任のあいさつ」

西澤 文登君

1. 昔のロータリアンのノスタルジア!

近年のロータリーの変化はさまざまいものがあります。私は1980年に上田東 RC に入会させていただきましたのでロータリー歴は35年を超えております。いわゆる「昔のロータリアン」です。当時は1業種1人という枠が厳格でした。また出席率も厳しく、出席率が悪いと出席委員長や幹事から注意があり、このために退会を余儀なくされた方もいらっしゃいます。入会当時は市内には上田 RC と上田東 RC の2クラブだけでしたので互いにメークアップする人数も多く5~6人のメイクも珍しくはありませんでした。休みも祝日は法定休日とされていましたがお盆も大晦日も例会があれば出席しなければなりません。出席率100%を維持するのは大変なことでした。私も篠ノ井までメイクに行ったことがあります。

それが今はどうでしょう? 職業分類の枠は無きに等しく、年4日のクラブ都合の休日が認められ、出席に関しても何でもありのようなものです。経済をはじめ時代は変わりました。ロータリーも時代に即応して変わるのは当然です。しかし変わってはいけない所までロータリーは変わってしまったような気がします。日本のロータリークラブは会員数の減少に歯止めがかかりません。ロータリー自体がロータリーの魅力を減少させているような気がいたします。



2. 一度背を向けかけた自分を反省!

私もロータリーに対して魅力を昔ほど感じなくなり、多忙を理由に出席免除の特典を認めていただきました。実は徐々に出席する日を少なくして2~3年したらひっそりとおとなしくクラブを去ろうと欲していたのです。それが図らずも否応なしにロータリーに深く関わらなければいけない境遇になりました。一度後ろ向きになった人間がリーダーシップを取るような立場に立つことが許されるかどうか甚だ疑問です。しかしクラブ創立の時に私は深く関わっております。クラブのピンチの時に手を挙げるのも自分の役目かなとつい考えてしまい会長エレクトのご指名を受諾いたしました。思い上がった自分の浅はかさには呆れます。このことを家族に話したら「何で今更」とか「その年で」とか言われました。家族の協力はどうも無理のようです。しかし一度返事をしたからには真剣に取り組まなければなりません。及ばずながら自分なりに1年間会長職を務めてまいります。よろしくお願ひいたします。

3. 少ない原資で知恵を絞った活動を!



今年度は会員24名からのスタートです。スタートにはちょうどよい人数だと思います。人とお金は限られますが、それなりに知恵を絞ればよいのです。少ない予算と限られたマンパワーでいかに効果を上げるかを考えることもまた楽しからずやです。実は財政不足で積立金を崩さなければ予算建て出来ないかも

知れないと思っていました。横沢幹事が苦心の予算を組んでくれました。5大奉仕に100万円近く使えます。多くはないけれど工夫すれば十分それなりの事業ができる金額です。

4. クラブのまとめりと機能性!

限られた原資で最大の効果を上げるにはクラブ内のまとめりが先ず必要です。風通しのいい人間関係で答えが早く出る機能性が重要です。そのために理事会のメンバーを可能な限り少なくしました。また事業をクラブ強化、例会運営、奉仕プロジェクトの3つに集約しわかりやすくしました。この3部門の委員長は事業遂行と予算執行の責任を負います。事業内容ややり方をいちいち理事会に諮ることなく責任を持って執行していただきます。理事会には報告していただくだけで結構です。ロータリークラブは良識を持った人の集まりなのです。

5. 「ロータリーの心」を実感しクラブのアイデンティティーの確立を!

会員数の少ないクラブですから会員増強はもちろん必要です。しかし現会員一人ひとりのグレードアップも必要なことです。会員全員が真のロータリアンになることこそクラブ強化の最大目標です。昨年度私たちのクラブはいくつかの行事を滞りなくこなしました。素晴らしいことです。力があります。この力を衰退させないように新しい血を注入し、さらに持っている力を強化できればクラブの未来は明るいものとなります。上田六文銭 RC は地域社会にとって無くてはならない存在だと世間に知らしめるような存在になりたいものです。

今年度前半で今一度「ロータリーの心」を学び直し、現在の活動を検証したいと思ひます。私達のクラブの存在意義を考えたいと思ひます。